



▲環境問題を絵で説明する廣瀬さん(左)と金ヶ江さん(右)

環境フォーラムinふくつ 未来につなぐふくつの自然環境

さまざまな環境問題への理解を深め、福津市の自然環境を未来につなごうと、12月18日、イオンモール福津で環境フォーラムinふくつを開催しました。体験・展示コーナーはもちろん、クイズラリーにもさまざまな年代のかたが参加。家庭から出る生ごみを段ボール箱に入れ、その中で減量・堆肥化を行うダンボールコンポストの講習会には29人が参加し、NPO法人循環生活研究所の廣瀬昭子さんと金ヶ江ヤエ子さんの声に耳を傾けていました。参加者の皆さんは環境問題への意識がとて高く、次から次に質問が飛び交っていました。

令和3年度 福津市人権講演会 いろいろな人がいて当たり前

人権週間に先立ち、12月4日、市中央公民館で人権講演会を開催しました。講師に、日本で初めて同性パートナーシップ証明書を取得した、元タカラジェンヌで公認心理師、LGBTアクティビストの東小雪さんを招き、東さんのこれまでの経験や活動を踏まえながら、LGBTの考え方についてご講演いただきました。性的マイノリティ(少数者)だけでなく、女性や子どもなど幅広く支援を行っている東さんは「社会で生き難さを感じている人は身近にたくさんいる。その生き難さを多様性として認め、一人一人を大切に思ってもらいたい」と語っていました。



▲終始笑顔で講演する東さん



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限り、データの持ち込みは受け付けられません。毎月先着24人で、4月生まれの赤ちゃんは2月17日(木)が受付期限です。

受付、問い合わせ
市子育て支援センターなかよし(ふくとぴあ) ☎35・8382
休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム
2月1日(火) から受付開始



TSUYAZAKI BASE CAMPがSDGs宣言第1号 プラスチックのリサイクルを推進

持参したプラスチックごみからリサイクル品を自分の手でつくることができる「廃プラリサイクル体験」や環境教育などを通じて環境保全、啓発に取り組む TSUYAZAKI BASE CAMPが、12月6日、市で最初のSDGs宣言を行いました。工場長の古川隆邦さんは「体験を通じて、子どもたちにリサイクルやモノづくりの楽しさを感じてもらいたい。また、公園の柵に廃プラスチックの角材を使用するなど、さまざまな取り組みを通じてプラスチックのリサイクルを進めていけたら」と今後の展望を語っていました。



▲SDGs宣言を行った古川さん(中央)と吉原真琴さん(左)

畦町の八幡宮境内でソバの脱穀と唐箕掛け まちおこしから始まった地域活動

唐津街道畦町宿保存会がまちおこしを目的として始めたこの活動は今年で8年目となり、当日の12月5日はソバボランティアや地域のかた32人が活動に参加しました。参加者は新そばをみんなで食べる日を心待ちにしながら、真剣に作業に取り組んでいました。



▲風力を利用して実だけを選別する唐箕掛け

高純度次亜塩素酸水の寄贈を受けました 命と安全を守るために

福岡県工業技術センターと共同で高純度の次亜塩素酸水を開発した、古賀市の株式会社凜テックスから200ℓの次亜塩素酸水「スーパー凜水」の寄贈を受けました。吉永克美代表取締役は「凜テックスは命と安全を守ることをコンセプトにしている。学校や市役所で使ってほしい」と語っていました。



▲次亜塩素酸水を寄贈する吉永代表取締役(中央左)と吉永泰像顧問(右)